

認知症に「早く気がつく」ことで、そなえができます。

早く「気づく」










認知症について正しく知り、
症状が軽いうちに準備。
周りの人とも話し合しましょう。

早く「診断」






まずは診断を受けることが大切です。
早めの治療で改善するものも
あります。

早く「治療」

自分に合った治療を受けることで
進行を遅らせることができ、
症状が落ち着くことがあります。

認知症の段階	元気	認知症の疑い	認知症(軽度)	認知症(中等度)	認知症(重度)
	自立		誰かの見守りがあれば 日常生活は自立	日常生活を送るには 支援や介護が必要	常に専門的な医療や 介護が必要
本人の様子(目安)	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり、介護予防に取り組む 地域の活動に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ものわすれの自覚が出てくる 計算や漢字など、ちょっとしたミスが増える 	<ul style="list-style-type: none"> 同じことを何度も聞く物や人の名前が出てこない 料理や買い物、金銭管理などが難しくなってくる 	<ul style="list-style-type: none"> 「ものを盗られた」などの発言が出る 家までの帰り道が分からなくなる 読み書きが苦手になる ものわすれの自覚がない 	<ul style="list-style-type: none"> 食事、トイレ、移動など日常生活に関することが、誰かの助けがないと難しい 車いすやベッド上での生活が長くなる 言葉数は少なくなるが、感覚は残っている
対応のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 本人と一緒に楽しく、認知症予防の取組をしましょう 	<ul style="list-style-type: none"> 気になり始めたら、年のせいにはせず、早めにかかりつけ医や相談窓口にご相談しましょう 	<ul style="list-style-type: none"> できないことは責めず、本人ができないことをサポートしましょう 認知症についての勉強や介護保険サービスの利用について相談しましょう 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な症状が出始め、支える人が疲れる時期です。人の助けを借りましょう 通所サービスのみでは対応が難しくなってきます。訪問系やその他のサービスも検討しましょう 	<ul style="list-style-type: none"> 本人が安心できる環境づくりを心がけましょう 最期の迎え方について話し合いをしておきましょう 

【佐渡市認知症ケアパス】 ~いつ、どこで、どんな支援やサービスが受けられる?~

認知症の段階	元気	認知症の疑い	認知症(軽度)	認知症(中等度)	認知症(重度)
	自立		誰かの見守りがあれば 日常生活は自立	日常生活を送るには 支援や介護が必要	常に専門的な医療や 介護が必要
相談する	地域包括支援センター (ものわすれあんしん相談)			施設への移行	
				認知症疾患医療センター 若年性認知症支援センター	
				介護支援専門員 (ケアマネジャー)	
そなえ・参加する	認知症カフェ 認知症の人と家族の会				
	介護予防教室 介護予防サービス				
	認知症サポーター養成講座				
	集落の集まり 老人クラブ 地域の茶の間など				
保健・医療介護	かかりつけ医 認知症相談医 歯科 薬局				
	健康診断 歯科健診				
	もの忘れ検査入院		訪問診療 訪問看護		
	一般介護サービス (ヘルパー・デイケア・ショートステイ・小規模多機能型サービスなど)				
	認知症専門サービス (認知症タイプ型デイサービス・グループホームなど)				
	認知症初期集中支援チーム				
生活支援・見守り	安否確認・緊急通報サービス・生活支援サービス			移送サービス・外出支援サービス	
				介護手当・徘徊高齢者家族支援サービス・日常生活用品給付	
	日常生活自立支援事業・成年後見制度				